

部局名:教育委員会

平成29年度当初予算知事査定ヒアリング資料

| 順番  | 細事業名                   | 事業費(単位:千円) | ページ |
|-----|------------------------|------------|-----|
| 1   | 「挑戦・交流・進化」で紡ぐ職業教育推進事業費 | 5,800      | 1   |
|     | 世界へはばたく高校生育成支援事業費      | 33,254     | 7   |
| 2   | 未来を拓く職業人育成事業費          | 3,204      | 15  |
| 合 計 |                        | 42,258     |     |



平成29年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課 教育委員会事務局 高校教育課

事業概要

|                |   |                      |          |        |           |           |
|----------------|---|----------------------|----------|--------|-----------|-----------|
| 細事業名           | 「挑戦・交流・進化」で紡ぐ職業教育推進事業費  |                      |          |        | 区分        | 一部新規      |
| 施策             | 221   | 夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成 |          |        |           |           |
|                | 22103   | キャリア教育の推進            |          |        |           |           |
| 基本事業           | 目標項目  |                      | 28年度実績値  |        | 31年度目標値   |           |
|                | 地域等の人材を招へいした授業等を行っている学校の割合  |                      |          |        | 小学校 87.0% | 中学校 70.0% |
|                |   | 高等学校 100.0%          |          |        |           |           |
| 根拠<br>(法令等)    |   |                      |          |        |           |           |
| 予算額等           | 年度  | 平成27年度               | 平成28年度   | 平成29年度 | 平成30年度    | 平成31年度    |
|                | 予算額   |                      | 13,885千円 |        |           |           |
|                | 決算額   | 9,543千円              |          |        |           |           |
| 事業の目的          | <ul style="list-style-type: none"> <li>職業学科で学ぶ生徒が海外の生産現場を体験する機会を持つことで、海外勤務の現状を知り異文化理解を深めます。(海外インターンシップ ものづくりコース)</li> <li>職業学科で学ぶ生徒が海外の食文化・食産業に触れることで、高い技術力、語学力、ホスピタリティ精神等の必要性を知り、活躍の舞台として海外を視野に入れます。(海外インターンシップ フードコース)</li> <li>職業学科で学ぶ生徒が高度な専門的知識・技術の習得を目指して、各種資格取得や全国規模の競技会等へ挑戦するとともに、多様な人々との交流をとおして人間力を向上させることで、未来のプロフェッショナルとしての「技」と「心」を身に付けます。</li> </ul>                                       |                      |          |        |           |           |
| 事業目標           | <ul style="list-style-type: none"> <li>海外インターンシップの参加生徒10名以上を目指します。</li> <li>各種競技会等の全国大会出場を目指します。(10大会以上)</li> </ul>   |                      |          |        |           |           |
| 前年度からの変更点      | <ul style="list-style-type: none"> <li>海外インターンシップを実施します。</li> <li>細事業名を「職業教育支援事業費」から「『挑戦・交流・進化』で紡ぐ職業教育推進事業費」へ変更します。</li> </ul>  |                      |          |        |           |           |
| 事業の必要性と期待される効果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>多感な時期に海外で知見を深めることは、生徒の大きな成長につながります。</li> <li>異文化理解を深め、多様な人々と協働する力を育成することができます。</li> <li>ものづくり産業（製造業）は、厳しい国際競争の中で、生産工場や開発拠点の海外移転が今後も進むと予想されます。職業学科で学ぶ生徒が海外の生産現場を体験する機会を持つことで、海外勤務の現状を知り、将来、生産現場の中堅的なリーダーとして活躍できる人材を育成できます。</li> <li>高校生の海外インターンシップやその報告会を実施することで、将来、海外の生産現場で働くための意識や覚悟を醸成することができます。</li> <li>平成30年度開校予定の工業学科専攻科では、世界の高度な技術に触れるためのアメリ</li> </ul> |                      |          |        |           |           |

- 力やドイツへのインターンシップを予定しています。高校在学中に海外勤務を意識させることで、専攻科生の国際感覚を磨く取組につながります。
- ・ 伊勢志摩サミットを契機に、今後観光・食関連分野等のサービス産業は成長を期待されていることから、グローバルな視点と日本のおもてなしの心を持った人材の育成が必要です。職業学科で学ぶ生徒が海外での経験を積むことにより、調理技術の向上、ホスピタリティ精神の醸成を図ることができ、県の食産業分野の中核を担う人材の育成につながります。
  - ・ 海外の食に関する職場環境に触れることは、海外での接客マナーの習得、国際コミュニケーション能力の向上、海外人脈の形成を得るとともに、環境適応能力や柔軟性、メンタリティーの向上、調理等に関する専門的な英語力の向上につながります。
  - ・ 職業学科で学ぶ生徒が農業クラブ全国大会や高校生ものづくりコンテスト全国大会で優勝や上位入賞を果たすことは、自分の学んでいる学習に積極的に取り組むとともに、三重県を支える産業人材の育成につながります。また、その成果は他部局の取組にも活用され、広く県内に成果を発信していくことにつながります。
  - ・ 人材不足が顕在化する看護・保育・福祉・建設分野等の業種で活躍する人材を育成することができます。

#### 取組詳細

#### 取組概要

- ・ グローバルな視野を持ち、多様な人々と協働する力を育むため、職業学科で学ぶ生徒の海外インターンシップ等を実施します。
- ・ 職業学科で学ぶ生徒が、知識・技術の向上を図るため、各種資格取得や全国規模の競技会等へ積極的に挑戦できるよう支援します。
- ・ 人材不足が顕在化している業種への人材を育成するため、看護・保育・福祉・建設分野等を学ぶ生徒の実習等を支援します。
- ・ 社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的で卓越した取組に挑戦している学校を支援します。

#### 取組内容等

#### ① 海外インターンシップ（ものづくりコース、フードコース）を実施 5,800千円（4,400千円）

##### 【ものづくりコース】（予定）

三重県内の工業高校生（1，2年生）10名程度を対象として、県内企業のベトナムにある現地工場において、ジョブシャドウや組立作業等の就業体験を5日間程度行います。

また、県内の工業高校生に対して報告会を実施し、海外のものづくり産業を知る機会を設けるとともに、グローバル社会のものづくり産業で活躍しようとする意識付けを行います。

##### 【フードコース】（予定）

三重県内の家庭関連学科で学ぶ高校生（2，3年生）4名程度を対象として、アメリカやフランスのレストラン等において、調理技術、サービス、食文化交流等の就業体験や食産業界のハーバード大学と呼ばれるアメリカのCIA（カリナリー・インスティテュート・オブ・アメリカ）での研修を5日間程度行います。

- ② 各種競技や研究発表を行う全国大会・ブロック大会への出場を支援
  - ・ 生産的な活動及び調査・研究活動（主として、各種競技会や研究発表会の活動を通じて、学習の成果を確実に定着させ、主体的、自立的に学習する態度を育成するための活動）をする県立高等学校の生徒の全国大会・ブロック大会への参加を奨励する取組を行います。
  
- ③ 人材不足が顕在している看護・介護等の実習を支援
  - ・ 介護福祉士を養成する学校の教員が、文部科学省が創設した「介護福祉士等に係る講習」及び「介護技術等に係る研修」を受講に係る費用について支援します。また、看護科や福祉科等の生徒の老人福祉施設等における実習を支援します。
  
- ④ 先進的な卓越した取組を行う学校を支援
  - ・ 他者と協働し、地域食材等を活用した商品開発等をするなど、先進的な取組を行う学校を支援します。



平成28年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課 教育委員会事務局 高校教育課

事業概要

|                |  |                      |                                      |                                       |        |        |
|----------------|--|----------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--------|--------|
| 細事業名           | 職業教育支援事業費  |                      |                                      |                                       | 区分     | 継続     |
| 施策             | 221  | 夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成 |                                      |                                       |        |        |
|                | 22103  | キャリア教育の推進            |                                      |                                       |        |        |
| 基本事業           | 目標項目   |                      | 27年度実績値                              | 31年度目標値                               |        |        |
|                | 地域等の人材を招聘した授業等を行っている学校の割合  |                      | 小学校 82.9%<br>中学校 64.0%<br>高等学校 98.5% | 小学校 87.0%<br>中学校 70.0%<br>高等学校 100.0% |        |        |
| 根拠<br>(法令等)    |  |                      |                                      |                                       |        |        |
| 予算額等           | 年度   | 平成27年度               | 平成28年度                               | 平成29年度                                | 平成30年度 | 平成31年度 |
|                | 予算額  | 13,885千円             |                                      |                                       |        |        |
|                | 決算額  | 9,543千円              |                                      |                                       |        |        |
| 事業の目的          | <p>教科学習と深い関わりのある生産クラブ活動等において、生徒が意欲的に活動に取り組み、全国大会等への積極的な参加を促します。</p> <p>産業界等と情報交換会による専門高校における人材育成について検証を行います。</p> <p>福祉科等の生徒が老人福祉施設等において実習を行うために必要な支援を行います。</p> <p>社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するために、先進的な卓越した取組や研究開発を行うSPH指定校に対して指導・助言を行うとともに、SPH事業の推進に必要な業務を行います。</p> |                      |                                      |                                       |        |        |
| 事業目標           | <p>全国大会への出場（10大会以上）</p> <p>平成27年度職業教育の成果と課題を検証するための地方産業教育審議会（3回以上開催予定）</p>   |                      |                                      |                                       |        |        |
| 前年度からの変更点      | 特記事項なし   |                      |                                      |                                       |        |        |
| 事業の必要性と期待される効果 | <p>教科学習と深い関わりのある生産クラブ活動等において、生徒が全国大会等に積極的に参加できるよう旅費について支援することが必要です。生徒が日常の学習活動に対して、より一層意欲的に取り組むことが期待されます。</p> <p>高等学校において介護福祉士養成課程を設置する場合は、厚生労働省及び文部科学省の認可を受ける必要があることから、その認可を受けるための要件を満たす教員を養成する必要があります。</p> <p>福祉科等の生徒は老人福祉施設等において実習を行う必要があります。</p>            |                      |                                      |                                       |        |        |

## 取組詳細

### 取組概要

職業学科で学ぶ生徒が、主体的に活動できるよう全国大会等に出場する生徒の旅費について補助します。

産業界等との人材育成に関する情報交換、教員の企業実習を目指した取組、生徒の実習等を支援します。

### 取組内容等

- (1) 生産クラブ活動等全国大会出場者派遣支援事業 1,822 千円 (1,822 千円)  
生産的な活動及び調査・研究活動（主として、各種競技会や研究発表会の活動を通じて、学習の成果を確実に定着させ、主体的、自立的に学習する態度を育成するための活動）をする県立高等学校の生徒の全国大会・ブロック大会への参加を奨励する取組を行います。
- (2) 高等学校職業教育等充実支援事業 3,493 千円 (3,493 千円)  
介護福祉士を養成する学校の教員が、文部科学省が創設した「介護福祉士等に係る講習」及び「介護技術等に係る研修」を受講に係る費用について支援します。また、福祉科等の生徒が、老人福祉施設等における実習を支援します。
- (3) スーパープロフェッショナル事業 8,570 千円 (0 千円)  
SPH指定校が、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するために先進的な卓越した取組や研究開発を行います。SPH指定校が、プログラムを開発することで問題解決の能力を育むとともに、職業教育に対する意識を高めます。また、そのために三重県教育委員会及び指定校が特に必要と認める業務を行います。

## 中間進捗情報

### 成果と残された課題

- (1) 生産クラブ活動等全国大会出場者派遣支援事業  
日本学校農業クラブ全国大会へ 29 名の生徒が参加するなど、各学科においてそれぞれ全国大会、ブロック大会に出場して、学習成果を発揮しています。
- (2) 高等学校職業教育等充実支援事業  
衛生看護科及び衛生看護専攻科の生徒が病院で看護実習、福祉科等の生徒が老人福祉施設等で福祉実習を行っており、資格取得や実践的な技術を身に付けています。

### 下半期（翌年度）に向けた改善のポイントと取組方向

#### 〔下半期〕

11月の全国産業教育フェア等へそれぞれの学科の生徒が出場できるよう支援していきます。

#### 〔翌年度〕

老朽化した設備が増えていることから、機器の更新や修繕等について、緊急性など優先順位をつけて対応していきます。



事業概要

|             |   |                      |          |        |         |        |      |  |
|-------------|---|----------------------|----------|--------|---------|--------|------|--|
| 細事業名        | 世界へはばたく高校生育成支援事業費   |                      |          |        |         | 区分     | 一部新規 |  |
| 施策          | 221   | 夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成 |          |        |         |        |      |  |
|             | 22102   | グローバル教育の推進           |          |        |         |        |      |  |
| 基本事業        | 目標項目  |                      | 28年度実績値  |        | 31年度目標値 |        |      |  |
|             | 海外留学（短期留学を含む）や海外研修等に参加した高校生の数   |                      |          |        | 480名    |        |      |  |
| 根拠<br>（法令等） |   |                      |          |        |         |        |      |  |
| 予算額等        | 年度  | 平成27年度               | 平成28年度   | 平成29年度 | 平成30年度  | 平成31年度 |      |  |
|             | 予算額   |                      | 33,373千円 |        |         |        |      |  |
|             | 決算額   |                      |          |        |         |        |      |  |
| 事業の目的       | <p>社会、経済等のあらゆる面においてグローバル化が急速に進展する中、国際的な舞台で積極的に活躍・発信する力が求められています。</p> <p>グローバルな視野に立って自らの考えや意見を適切に伝え異なる文化・伝統に立脚する人々と共生できる能力や態度、知識・技能を活用して自ら課題を発見し、その解決に向けて研究に取り組み、その成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等が必要とされています。</p> <p>また、「伊勢志摩サミット三重県民宣言」では、さまざまな国のさまざまな立場の人たちとつながり、挑戦することが決意されています。</p> <p>当事業では、このような態度や能力を身につけ、将来、国際的な舞台で競争し、活躍できる人材を育成します。</p>   |                      |          |        |         |        |      |  |
| 事業目標        | <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル社会において特に必要とされる次の3つの力の育成を重視し、事業に取り組みます。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 高い志を持ち、さまざまな課題に対して自ら考え挑戦し、壁を乗り越え未来を切り拓く力                 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 将来の夢や希望を持ち、失敗をおそれず挑戦する子どもたちの割合を平成31年度までに75.5%にします。</li> </ul> </li> <li>② 日本人・三重県民としてのアイデンティティを持ちながら、異なる文化・伝統に立脚する人々と協働しながら共に成長し、未来を創造する力                 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 海外留学や海外研修に参加した県立高等学校の生徒数を平成31年度までに480人にします。</li> </ul> </li> <li>③ 国際的な共通語となっている「英語」によりコミュニケーションを図り、行動する力</li> </ol> </li> </ul> |                      |          |        |         |        |      |  |

→ 高校卒業段階で英検準2級または2級以上を取得した高校生の割合を平成31年度までに55%にします。

・ 思考力・判断力・表現力を高める取組として、次の事業を行います。

① 「みえ自然科学フォーラム」への中高生の参加。

→ 「みえ自然科学フォーラム」に参加する中高生の生徒数を平成31年度までに200名以上にします。

② 国際大会につながる物理・化学などの国際科学技術コンテストへのチャレンジ

→ 国際科学技術コンテストにチャレンジした生徒数を平成31年度までに200名以上にします。

③ 三重県高等学校科学オリンピック大会（科学の甲子園全国大会三重県予選）へのチャレンジ

→ 三重県高等学校科学オリンピック大会（科学の甲子園全国大会三重県予選）に参加する学校数を平成31年度までに15校にします。

④ 「探究的な活動」に係る調査・研究

→ 県内高等学校で、「探究的な活動」を実践している学校数を平成31年度までに10校以上にします。

前年度から  
の変更点

・ 「みえ未来人育成塾」では、参加対象を県内私立高校生、県外高校生、留学生に広げ、多様な参加者が、「桑名ジュニア・コミュニケ」及び「三重県宣言」（国際地学オリンピック）のテーマを活用したディスカッションを行う取組を実施するとともに、「高校生の留学促進関係」では、留学経験者の成果報告をさらに充実させることで、海外留学ができない生徒に対しても国際交流や異文化体験ができる場とします。

・ 平成28年8月の国際地学オリンピック日本大会開催を踏まえ、理数教育に関する課題を整理し、世界に通用するスーパー高校生育成推進事業を再構築します。また、自然科学に対する興味・関心をさらに高めるため、小中高校生を対象として「みえ自然科学フォーラム」を開催します。さらに、「国際科学技術コンテスト」では、参加対象を私立高校にも広げて世界大会へ出場する生徒を育成するなど、これまでの取組をさらに発展させ、展開していきます。

事業の必要性と期待される効果

・ 海外へ留学する三重県の生徒数は平成13年の43人をピークに減少し、内向き志向にあることから、さまざまな国のさまざまな立場の人たちとつながり、挑戦できるよう、県教育委員会が主体となって、チャレンジ精神や発信力を含むコミュニケーション力を育成する必要があります。

・ 高等学校における外国語教育においては、授業時間外も含めた英語の使用環境を創出することで、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能を総合的に育成することができます。

・ 国際大会につながる様々な大会に挑戦することで、科学に対する興味・関心が高まるとともに、国際的な舞台で活躍できる力が育成されます。

・ 理科教育等設備の老朽化等により、設備整備を計画的に行っていく必要があります。

|       |   |
|-------|---|
| 取組概要  | <p>グローバル社会において特に求められる力として「主体性」「共育力」「語学力」の3つの柱に沿った取組を進め、国際的な舞台で活躍できる人材を育成します。</p> <p>また、知識・技能を活用して自ら課題を発見しその解決に向けて研究し成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の力を育成する取組を進めるとともに、理数分野で国際的な舞台で活躍できる力を育成する取組を進めます。</p> |
| 取組内容等 |   |

(1) 高校生グローバル教育推進事業 20,894千円(8,987千円)

- ・ 県内・県外（広島県等）高校生、留学生、大学生を対象に、「みえ未来人育成塾」を開催し、ディスカッションについて学ぶワークショップや「桑名ジュニア・コミュニケ」及び「三重県宣言」（国際地学オリンピック）のテーマに関連した社会問題や地域課題等について、日本語・英語でディスカッションを行います。
- ・ 高校生を対象とした「英語キャンプ」を開催し、実践的な英語使用環境の創出や大学生との異年齢交流を行います。また、同キャンプでは新たに英語によるディスカッションやディベート等を実施し、主体性・積極性、チャレンジ精神等の資質を有する人材を育成します。
- ・ 高校生（県立・私立）の留学を促進し、より多くの生徒が海外で学ぶ機会を設けるとともに、成果報告会等をとおして成果を普及・拡大します。また、高校生の留学の機運を高め、裾野を広げるための手立てとして、留学フェアや短期海外研修旅行を実施します。
- ・ 文部科学省事業のスーパーグローバルハイスクール事業をとおして、引き続きグローバル人材育成のモデル校となるよう事業を進めます。

(2) 世界に通用するスーパー高校生育成推進事業 12,360千円(3,972千円)

- ・ 第10回国際地学オリンピック日本大会により高まった自然科学に対する機運を継承するため、「みえ自然科学フォーラム」を開催します。対象を小中学生（私立学校の生徒を含む）にも広げ、各学校での「探究的な活動」の成果を発表しあったり、地学をはじめとする自然科学分野での著名な科学者の研究に触れる機会を設けます。
- ・ 知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて研究するとともに、成果等を表現する「探究的な活動」を充実するための調査研究を、研究指定校中心に「理数教育コンソーシアム」を形成して実施します。各校で行う野外協力調査などの「探究的な活動」をさらに深化させるとともに、教員の指導力向上を図り、さらにその研究成果を「みえ自然科学フォーラム」で県内高等学校へ還元します。
- ・ 物理・化学・数学などの国際科学技術コンテストにチャレンジする高校生（私立学校の生徒を含む）を支援するため、各分野の研究者による講義やセミナーなどを4分野にわたり行います。
- ・ 鈴鹿医療科学大学と連携し、高校生の科学に対する興味・関心を高める三重県高等学校科学オリンピック大会（科学の甲子園全国大会三重県予選）を開催します。
- ・ 医学部への進学を目指す生徒の、医師という仕事の正しい勤労観・職業観を育成するため、医学部進学セミナーを開催します。
- ・ 理科教育振興法に基づき高等学校の理科及び数学に係わる設備の充実を図ります。



平成28年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課 教育委員会事務局 高校教育課

事業概要

|         |     |   |                      |         |         |        |    |  |
|---------|-----|---|----------------------|---------|---------|--------|----|--|
| 細事業名    |     | 世界へはばたく高校生育成支援事業費   |                      |         |         | 区分     | 新規 |  |
| 施策      |     | 221   | 夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成 |         |         |        |    |  |
|         |     | 22102   | グローバル教育の推進           |         |         |        |    |  |
| 基本事業    |     | 目標項目  |                      | 27年度実績値 | 31年度目標値 |        |    |  |
|         |     | 海外留学（短期留学を含む）や海外研修等に参加した高校生の数   |                      | 350名    | 480名    |        |    |  |
| 根拠（法令等） |     |   |                      |         |         |        |    |  |
| 予算額等    | 年度  | 平成27年度  | 平成28年度               | 平成29年度  | 平成30年度  | 平成31年度 |    |  |
|         | 予算額 |   | 33,373千円             |         |         |        |    |  |
|         | 決算額 |   |                      |         |         |        |    |  |
| 事業の目的   |     | <p>社会、経済等のあらゆる面においてグローバル化が急速に進展する中、国際的な舞台で積極的に活躍・発信する力が求められています。</p> <p>グローバルな視野に立って自らの考えや意見を適切に伝え異なる文化・伝統に立脚する人々と共生できる能力や態度、知識・技能を活用して自ら課題を発見し、その解決に向けて研究に取り組み、その成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等が必要とされています。</p> <p>当事業では、このような態度や能力を身につけ、将来、国際的な舞台で競争し、活躍できる人材を育成します。</p>   |                      |         |         |        |    |  |
| 事業目標    |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル社会において特に必要とされる次の3つの力の育成を重視し、事業に取り組みます。             <ol style="list-style-type: none"> <li>高い志を持ち、さまざまな課題に対して自ら考え挑戦し、壁を乗り越え未来を切り拓く力<br/>→将来の夢や希望を持ち、失敗をおそれず挑戦する子どもたちの割合H31に75.5%</li> <li>日本人・三重県民としてのアイデンティティを持ちながら、異なる文化・伝統に立脚する人々と協働しながら共に成長し、未来を創造する力<br/>→海外留学や海外研修に参加した県立高等学校の生徒数H31に479人</li> <li>国際的な共通語となっている「英語」によりコミュニケーションを図り、行動する力<br/>→高校卒業段階で英検準2級または2級以上を取得した高校生の割合H31に55%</li> </ol> </li> <li>思考力・判断力・表現力を高める取組として、次の事業を行います。             <ol style="list-style-type: none"> <li>平成28年に三重県で開催される国際地学オリンピック日本大会への、高校生の参加</li> </ol> </li> </ul> |                      |         |         |        |    |  |

|                |   |
|----------------|---|
|                | <p>→世界 30 か国から集まる高校生と交流する生徒 100 名以上</p> <p>② 国際大会につながる物理・化学などの国際科学技術コンテストへのチャレンジ。<br/>→国際科学技術コンテストにチャレンジした生徒数H31 に 200 名以上</p> <p>③ 三重県高等学校科学オリンピック大会（科学の甲子園全国大会三重県予選）への、チャレンジ<br/>→三重県高等学校科学オリンピック大会（科学の甲子園全国大会三重県予選）に参加する学校H31 に 15 校</p> <p>④ 探究的な活動に係る調査・研究<br/>→県内高等学校で、探究的な活動を取り入れている学校数H31 に 10 校以上</p>  |
| 前年度からの変更点      | 新規事業  |
| 事業の必要性と期待される効果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>海外へ留学する日本人学生の数は平成 16 年の 82,945 人をピークに全国的に減少傾向にあることから、県教育委員会が主体となってチャレンジ精神や発信力を含むコミュニケーション力を育成する必要があります。</li> <li>高等学校における外国語教育においては、授業時間外も含めた英語の使用環境を創出することで、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の 4 技能を総合的に育成することができます。</li> <li>学力の 3 要素である、思考力・判断力・表現力を高めることで、三重の高校生の学力が向上します。また、平成 32 年から大学入試センター試験に代わって始まる大学入学希望者学力評価テスト（仮称）に対応できます。</li> <li>国際大会につながる様々な大会に挑戦することで、科学に対する興味・関心が高まるとともに、国際的な舞台上で競争し活躍できる力が育成されます。</li> </ul> |

#### 取組詳細

|      |  |
|------|--|
| 取組概要 | <p>学校が地域住民や企業等と連携協力しながら、グローバル社会において特に求められる力として「主体性」「共育力」「語学力」の 3 つに対応した取組を進め、国際的な舞台上で活躍できる人材を育成します。</p> <p>また、知識・技能を活用して自ら課題を発見しその解決に向けて研究し成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の力を育成する取組を進めます</p> <p style="text-align: center;">取組内容等</p> |
|------|--|

#### (1) 高校生グローバル教育推進事業 24,010 千円 (10,031 千円)

- 高校生と大学生を対象に、社会問題や地域課題等広くテーマを設定し、企業人や社会起業家等の講義、留学生を交えたディスカッションなどを行います。
- 英語キャンプを開催し、小中学生、高校生、留学生等を対象に、実践的な英語使用環境の創出や異年齢交流を行います。また、同キャンプではLEGO社の教材を活用し、経済界や産業界が求める課題解決能力のある人材育成を行います。
- 高校生の留学を促進し、より多くの生徒が海外で学ぶ機会を設けます。
- 文科省事業のスーパーグローバルハイスクールに応募し、グローバル人材育成のモデル校となるよう事業を進めます。

- ・ 職業系専門学科の高校生が小中学生等との体験メニューなどを提案し、高校生と小中学生等との異年齢交流、体験活動を行います。

(2) 世界に通用するスーパー高校生育成推進事業 9,363 千円 (2,004 千円)

- ・ 物理・化学・数学などの国際科学技術コンテストにチャレンジする高校生を支援するため、各分野の研究者による講義やセミナーなどを行います。
- ・ 第10回国際地学オリンピック日本大会開催に向け、本県からの出場を目指し、世界から集まる高校生との国際交流や国際野外協力調査の実施に向けた準備を行います。
- ・ 大学と連携し、高校生の科学に対する興味・関心を高める三重県高等学校科学オリンピック大会(科学の甲子園全国大会三重県予選)を開催します。
- ・ 医学分野への興味・関心を高める医学部進学セミナーを開催します。
- ・ 知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて研究するとともに、成果等を表現する探究的な活動充実のための調査研究を研究指定校中心に実施し、その成果を合同成果発表会で還元します。

中間進捗情報

成果と残された課題

(1) CAN-DOリストを活用した英語の授業改善を図るため、県立高等学校英語担当教員を対象とした研修会を実施したことで、CAN-DOリストの活用について理解が進みました。また、各校を個別に訪問し、英語科教員から英語教育改善に係る取り組み状況を聞き取るとともに、必要な指導・助言を行いました。

「高校生の留学促進事業」を実施し、平成28年度は12名(長期留学2名、短期留学10名)の高校生が県の支援を受けて留学しました。また、平成28年度から、新たに海外における産業現場の視察や企業体験を主な目的とした研修旅行を実施(7月25日～7月29日)し、職業系専門高校生等10名が見聞を広めました。

英語キャンプを開催(8月21日～23日)し、三重の素晴らしさについてのプレゼンテーションのほか、ロールプレイ(出入国審査、ホテルチェックイン)やディベート(ポケモンGOの是非について)等、新規の活動を行いました。

「三重の高校生サミット」を開催(6月5日、12日)し、参加者はディスカッション及びテーマに基づいた提言づくりに取り組んでポスターセッションを行うとともに、「2016年ジュニア・サミット in 三重」日本代表4名及び各地で行われた交流行事に参加した高校生2名と、「青少年外相会合広島」に参加した広島県の高校生6名が体験報告を行いました。

今後は、グローバル人材育成に係るこれらの取組について、県内各校に周知し、各取組における参加校を拡大する必要があります。

(2) 第10回国際地学オリンピック日本大会を開催し、12校265名の県内高校生が、世界26ヶ国から集まった高校生110名と交流を深めました。また、三重県立高校の生徒2名がゲスト生徒として参加し、2名とも銅メダル相当の成績を修めました。第10回国際地学オリンピック日本大会により高まった自然科学に対する機運を継承し、さらに高校生の自然科学分野への興味・関心を高める必要があります。

三重県高等学校科学オリンピック大会の開催に向けて実行委員会を2回開催しました。施設の充実した鈴鹿医療科学大学で実施することをふまえ、一層の問題の充実等に取り組む必要があります。

医学分野への興味・関心を高める医学部進学セミナーを開催し51名の高校生が参加しました。地域医療の現場を肌で感じることで、その認識を深めました。

探究的な活動充実のための担当者会議を1回開催し、研究テーマのよりよい設定方法について研究しました。今後も探究的な活動を評価するルーブリックの開発等継続して研究を続けていく必要があります。

#### 下半期(翌年度)に向けた取組方向

##### 〔下半期〕

(1) 学校訪問等をとおして、各校におけるCAN-DOリストの公表及び達成状況の把握ができていない各高等学校を積極的に支援し、「英語教育改善プラン」に基づく英語教育改善を推進します。

高校生フォーラム(10月21日において、三重県立高校生海外研修旅行参加者が、研修の成果を発表し、高校生の留学への関心を高めます。

「外国語教育の充実を図るための研修会」を開催(2月17日)し、グローバル人材育成に係る各取組の実施状況及び成果を県立高校教員に報告する場を設定します。

(2) 三重県高等学校科学オリンピック大会を開催(10月30日)するとともに、科学の甲子園全国大会出場に向けて、科学オリンピック大会優勝校に対する支援を行います。

第10回国際地学オリンピック日本大会により高まった自然科学に対する機運を継承するため、「みえ自然科学フォーラム2016」を開催(2月12日)し、最先端の自然科学分野の講演や探究的な活動の成果発表等を通じて、国際地学オリンピック日本大会で高まった気運をさらに盛り上げ、高校生の自然科学への興味・関心を高めることで、国際科学技術コンテストにチャレンジする高校生を育成します。

##### 〔翌年度〕

(1) 学校訪問等をとおして、英語の授業改善が進んでいない高等学校を積極的に支援し、「英語教育改善プラン」に掲げる目標数値の達成を目指します。

高校生の語学力を高め、国際理解を促進するため、長期留学及び短期留学を支援するとともに、英語キャンプを実施し、ディスカッション、ディベート等の高度なアクティビティを本格的に導入します。

「みえ未来人育成塾」等の取組をとおして、高校生が大学生や留学生と交流する機会を創出し、将来を担う若者同士のネットワークの構築を図ります。

(2) 科学オリンピック大会は次年度以降も継続して開催し、科学の甲子園全国大会での上位進出を目指します。

「みえ自然科学フォーラム」が翌年度以降参加する生徒にとってより魅力あるそして活躍できる場となるよう、運営方法や評価方法等を継続して見直していくとともに、各学校での探究的な活動と取組がさらに深まり、そして広まっていくよう、大学や三重県総合博物館等と連携しながら、指導できる教職員の資質・能力の育成などを進めます。



平成29年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課 教育委員会事務局 高校教育課

事業概要

|                |  |                      |          |        |                                       |        |      |  |
|----------------|--|----------------------|----------|--------|---------------------------------------|--------|------|--|
| 細事業名           | 未来を拓く職業人育成事業費  |                      |          |        |                                       | 区分     | 一部新規 |  |
| 施策             | 221  | 夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成 |          |        |                                       |        |      |  |
|                | 22103  | キャリア教育の推進            |          |        |                                       |        |      |  |
| 基本事業           | 目標項目   |                      | 28年度実績値  |        | 31年度目標値                               |        |      |  |
|                | 地域等の人材を招へいした授業等を行っている学校の割合   |                      |          |        | 小学校：87.0%<br>中学校：70.0%<br>高等学校：100.0% |        |      |  |
| 根拠<br>(法令等)    |  |                      |          |        |                                       |        |      |  |
| 予算額等           | 年度   | 平成27年度               | 平成28年度   | 平成29年度 | 平成30年度                                | 平成31年度 |      |  |
|                | 予算額  |                      | 29,216千円 |        |                                       |        |      |  |
|                | 決算額  |                      |          |        |                                       |        |      |  |
| 事業の目的          | <p>ジュニア・サミットや高校生サミットの成果を踏まえ、高校生に考え方の異なる人々と協力して課題を解決する力を育むとともに、地方創生や地域活性化の重要性について理解し、地域のことを主体的に考え、行動する意欲を醸成します。</p> <p>専門高校生が三重県の恵まれた自然を活かした食材等の商品開発等を進め、食関連産業への興味・関心を高めるとともに、自ら課題を発見し、改善・解決に取り組む力や態度を育成します。</p>  |                      |          |        |                                       |        |      |  |
| 事業目標           | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のイベント等へ参画する学校数や新たな地域の魅力の発信などに取り組む学校数と職業学科（農業、商業、水産、家庭）の生徒が、地域や企業との連携による商品開発等を行った学校数（20校）</li> </ul>   |                      |          |        |                                       |        |      |  |
| 前年度からの変更点      | 高校生地域創造サミット（仮称）を実施します。   |                      |          |        |                                       |        |      |  |
| 事業の必要性と期待される効果 | <p>人口減少が進む中、地域を活性化するためには、次代を担う子どもたちが自らの個性に応じて能力を最大限に発揮できる環境づくりと地域で活躍する人材の育成のための支援が必要です。県内外で積極的に地域の活性化に取り組んでいる高校生を招へいし、県内の高校生とともに議論をする場を設けることで、発表やディスカッションを通じて、生徒が自らの取組の良さや改善点を認識することにより、自信や意欲の向上につなげます。</p> <p>また、式年遷宮や伊勢志摩サミットにより注目が集まった本県の食や観光等、ポテンシ</p> |                      |          |        |                                       |        |      |  |

ヤルが高い産業に必要な「おもてなし」の心を高校生に育むため、産業界や観光協会等と連携した取組の拡充を図ります。

#### 取組詳細

#### 取組概要

- ・ 県外など他の高校生とのディスカッション等を通じて、他県の高校生の先進的な取組を知り、自らの取組に活かすとともに、考え方の異なる人々と協力して課題を解決する力を育み、将来社会で活躍できる人材を育成します。
- ・ 県立高校が市町、企業、大学等と連携し、地域の活性化に取り組むことにより、地域に対する愛着や絆を深め、地域活性化に貢献する高校生を育成します。
- ・ 地域の食や観光に関する産業等に携わる人材を育成します。

#### 取組内容等

##### ① 高校生地域創造サミット（仮称）3,204千円（3,204千円）

- ・ 高校生にとって身近な課題について、現実的な問題として考え地域活性化の提案につなげるため、地方創生に係るテーマを設定し、県内の高校生と他県の高校生による積極的なディスカッションや発表を行います。
- ・ 開催する地元市町から、地域における現実の課題をテーマとして出してもらうなど、地元市町と協力した取組を進めます。

##### ② 地域活性化に貢献する高校生の育成

- ・ 高校生の地域に対する愛着や絆を深め、地域で活躍しようとする意欲を醸成するため、高校生が地域の文化・伝統工芸・歴史等から魅力を発見するとともに、その魅力をテーマとした地域活性化プランを提案、実践し、高校生が創る“地域発イノベーション”につながる取組を推進します。
- ・ 地域活性化プラン等の実現にあたっては、外部講師を活用し、先進事例を参考に具体的な手法、市町や企業等との連携の方策について学ぶ機会を創出します。
- ・ 既に地域活性化に取り組み、一定の成果を上げている学校については、取組のブラッシュアップを図るための支援を行います。
- ・ 各学校の取組を県内に発信するとともに、高校生の表現力を育成するため、成果発表会を開催します。

##### ③ みえの食を担う高校生の育成

- ・ 高校生が食関連産業や地域の特産品、食材等に興味・関心を持つとともに、県の食関連企業への理解を促すため、高校生の視点で研究、実践を行う（企業と連携した商品開発、食農ネットワークづくり、農産物の六次産業化の取組、各種コンクール等へのチャレンジなど）学校への支援を行います。
- ・ 商品開発等の研究・実践を行うにあたっては、生産・加工・流通まで一貫した学習や知的財産に係る学習なども充実するとともに、必要な学習環境の整備を支援します。
- ・ 「おもてなし」の心を育むため、産業界や観光協会等と連携した取組を推進します。

## 高校生地域創造サミット（仮称）

### 1. 実施の目的

- ジュニア・サミットや高校生サミットの成果を踏まえ、高校生が地方創生や地域活性化の重要性について理解し、地域と一緒に取り組む視点を育むとともに、地域のことを主体的に考え、行動する意欲を身につける。
- 県外など他の高校の生徒とのディスカッション等を通じて、他県の高校生の先進的な取組を知り、自らの取組に活かすとともに、考え方の異なる人々と協力して課題を解決する力を身につける。
- 活動を通じて、地域社会の一員としての自覚を促し、達成感や自己肯定感を得るとともに、「地域に生き」「地域を創る」意欲を育むことで、将来社会に貢献しようとする態度や志を育む。

### 2. 実施概要

- 県内外の高校生が、地域とともに活性化に取り組んでいる事例を発表しあう。
- 県内で50名程度の高校生の参加を募るとともに、県外で地域の活性化に取り組んでいる5地域程度の高校生を合計20名程度招へいする。
- 地域が抱える身近な課題を踏まえて地域の活性化に向けたテーマを設定し、県内外の生徒がその解決に向けた協議を行う。
- 県内外の高校生が、議論や交流を深めることができるよう、夏休みを活用して1泊2日の合宿形式で開催する。
- 開催地の市町と協力、連携しながら取組を進める。

### 3. この事業を実施することによって得られる（期待される）効果等

- 県内外で積極的に地域の活性化に取り組んでいる高校生を招へいし、県内の高校生とともに議論をする場を設けることで、発表やディスカッションを通じて、生徒が自らの取組の良さや改善点を認識することにより、自信や意欲の向上につながる。
- 参加する高校生が郷土への愛着を持ち、卒業後に、地元を支える人材となること、他県の状況に目を向け全国的な視野を持って活躍できる人材となることなどが期待できる。
- 県立高校においては、「主体的・対話的で深い学びの実現」につなげる取組のきっかけとする。



平成28年度事業マネジメントシート（事務事業）

担当課 教育委員会事務局 高校教育課

事業概要

|                |  |                      |           |           |            |           |           |             |
|----------------|--|----------------------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-------------|
| 細事業名           | 未来を拓く職業人育成事業費  |                      |           |           |            | 区分        | 新規        |             |
| 施策             | 221  | 夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成 |           |           |            |           |           |             |
|                | 22103  | キャリア教育の推進            |           |           |            |           |           |             |
| 基本事業           | 目標項目   |                      | 27年度実績値   |           | 31年度目標値    |           |           |             |
|                | 地域等の人材を招聘した授業等を行っている学校の割合  |                      | 小学校：82.9% | 中学校：64.0% | 高等学校：98.5% | 小学校：87.0% | 中学校：70.0% | 高等学校：100.0% |
| 根拠<br>(法令等)    |  |                      |           |           |            |           |           |             |
| 予算額等           | 年度   | 平成27年度               | 平成28年度    | 平成29年度    | 平成30年度     | 平成31年度    |           |             |
|                | 予算額  |                      | 29,216千円  |           |            |           |           |             |
|                | 決算額  |                      |           |           |            |           |           |             |
| 事業の目的          | <p>高校生が地域の活性化に積極的に取り組むことにより、地域を学び、地域への愛着や絆を深め、地域社会で活躍しようとする意識を醸成します。</p> <p>専門高校生が三重県の恵まれた自然を生かした食材等の商品開発等を進め、食関連産業への興味・関心を高めます。</p> <p>ものづくり産業に必要な実践的な技術・技能を身につけるとともに、自ら課題を発見し改善・解決に取り組む力や態度を育成します。</p>             |                      |           |           |            |           |           |             |
| 事業目標           | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のイベント等へ参画する学校数や新たな地域の魅力の発信などに取り組む学校数と職業学科（農業、商業、水産、家庭）の生徒が、地域や企業との連携による商品開発等を行った学校数（20校）</li> <li>工業学科で学ぶ生徒が全国の競技会等で入賞した学校数（3校）</li> </ul>                                  |                      |           |           |            |           |           |             |
| 前年度からの変更点      | 新規事業   |                      |           |           |            |           |           |             |
| 事業の必要性と期待される効果 | <p>人口減少が進む中、地域を活性化するためには、次代を担う子どもたちが自らの個性に応じて能力を最大限に発揮できる環境づくりと地域で活躍する人材の育成のための支援が必要です。</p> <p>地域特産品を活用した商品開発などは、地域の観光産業推進にも大きな役割を担うことができます。</p> <p>高校生のものづくり産業に関する実践的な知識・技能の習得は、伝統産業・地場産業等の次代を担う職業人の育成にもつながります。</p> |                      |           |           |            |           |           |             |

## 取組詳細

### 取組概要

- ・ 県立高校が市町、企業、大学等と連携し、地域の活性化に取り組むことにより、地域に対する愛着や絆を深め、地域活性化に貢献する高校生を育成します。
- ・ 地域の食関連産業に携わる人材を育成します。
- ・ ものづくり産業を担う人材育成を推進します。

### 取組内容等

(1) 未来を拓く職業人育成事業 29,216千円(8,608千円)

#### ① 地域活性化に貢献する高校生の育成

- ・ 高校生の地域に対する愛着や絆を深め、地域で活躍しようとする意欲を醸成するため、高校生が地域の文化・伝統工芸・歴史等から魅力を発見するとともに、その魅力をテーマとした地域活性化プランを提案、実践し、高校生が創る“地域発イノベーション”につながる取組を推進します。
- ・ 地域活性化プラン等の実現にあたっては、外部講師を活用し、先進事例を参考に具体的な手法、市町や企業等との連携の方策について学ぶ機会を創出します。
- ・ 既に地域活性化に取り組み、一定の成果を上げている学校については、取組のブラッシュアップを図るための支援を行います。
- ・ 各学校の取組を県内に発信するとともに、高校生の表現力を育成するため、成果発表会を開催します。

#### ② みえの食を担う高校生の育成

- ・ 高校生が食関連産業や地域の特産品、食材等に興味・関心を持つとともに、県の食関連企業への理解を促すため、高校生の視点で研究、実践を行う（企業と連携した商品開発、食農ネットワークづくり、農産物の六次産業化の取組、各種コンクール等へのチャレンジなど）学校への支援を行います。
- ・ 商品開発等の研究・実践を行うにあたっては、生産・加工・流通まで一貫した学習や知的財産に係る学習なども充実するとともに、必要な学習環境の整備を支援します。

#### ③ 「ものづくり産業」を支える技術者の育成

- ・ 県のものづくり産業を支える技術力とグローバルな視点を身に付けた人材を育成するため、より専門的な知識・技能を習得するための学習環境を整備するとともに、先端技術の見学や高度な資格取得、競技会で求められる技術力養成に必要な支援を行います。

## 中間進捗情報

### 成果と残された課題

- ① 地域活性化に貢献する高校生を育成するため、9校（四日市南高校、松阪商業高校、相可高校、飯南高校、四日市農芸高校、あけぼの学園高校、津商業高校、鳥羽高校、南伊勢高校南勢校舎）が地域の外部人材等を招へいし、地域のイベントの企画・運営、まちづくりへの参画、観光プランの作成、地域ブランドの創出などに取り組んでいます。今後は、地域から学ぶことに加えて、地域に貢献できる取組の拡充を目指す必要があります。
- ② みえの食を担う高校生を育成するため、6校（四日市農芸高校、相可高校、明野高校、宇治山田商業高校、水産高校、伊賀白鳳高校）が産業界等と連携し、商品開発や商標登録などの研究を進めるとともに、既に実績のある高校生レストラン等において有名ホテルのレストランサービス講師を招へいするな

ど、「おもてなし」の心を育む取組も進めています。今後は、産業界等との連携を深めるとともに、より実務的な取組を拡充していく必要があります。

- ③ ものづくり産業を支える技術者を育成するため、9校（桑名工業高校、四日市工業高校、四日市中央工業高校、津工業高校、松阪工業高校、伊勢工業高校、伊賀白鳳高校、名張西高校、尾鷲高校）がロボット相撲、省エネカー、電気自動車レースなどに取り組むことで技術力の向上を図っています。

今後は、技術力向上の取組を充実させるとともに、社会で必要な協働する力を育む取組を進めていく必要があります。

#### 下半期（翌年度）に向けた取組方向

##### 〔下半期〕

三重県産業教育フェアにおいて、「さんフェア未来トーク」を開催し、ディスカッションなどをおして、表現力の向上を図るとともに、広く県内に情報発信を行います。

平成29年2月17日には、成果発表会と研修会を行い、振り返りと新たな気づきにより、さらにブラッシュアップした取組が行えるよう支援します。

##### 〔翌年度〕

地域の魅力に気づき、情報を発信する取組をおして、地域で活躍しようとする意識を高めるとともに、伊勢志摩サミットにより注目の高まった本県の「食」や「観光」等、ポテンシャルの高い産業に必要な「おもてなし」の心を高校生に育むため、産業界や観光協会等と連携した取組を推進します。

